

移動等円滑化取組報告書（鉄道駅）

（2023年度）

住 所 京都市右京区嵯峨天竜寺車道町

事業者名 嵯峨野観光鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 井上 敬章

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の5の規定に基づき、次のとおり報告します。

I 前年度の移動等円滑化取組計画書の内容の実施状況

(1) 移動等円滑化に関する措置の実施状況

① 鉄道駅を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる鉄道駅	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
トロッコ嵯峨駅	駅舎内の警告ブロックの整備	完了
トロッコ嵐山駅	多目的トイレの呼び出しボタンの新設	施工の都合上、2023年度に実施予定
トロッコ亀岡駅		

② 鉄道駅を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
マニュアルの更新	必要に応じてマニュアルの更新を実施	更新項目なし
実地訓練の実施	マニュアルに応じた訓練の実施を計画	2023年度に実施予定

③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
高齢のお客様や障がいをお持ちのお客様に関する民間資格を持つ係員の増強	ユニバーサルマナー研修受講の懲進	2023年5～6月に2名受講を計画

④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
高齢のお客様や障がいをお持ちのお客様へのご利用案内の明確化	当社のホームページにバラバラに記載されている項目を集約し、わかりやすいものへ改修する。	2023年6月完了予定

⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
接客を担当する社員への研修の実施	高齢のお客様や障がいをお持ちのお客様への介助方法等についての教育を実施する。	2023年度に実施予定

⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての鉄道駅の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	現行計画の内容 (計画対象期間及び事業の主な内容)	前年度の実施状況
ポスターの掲出	バリアフリーに関する各種ポスター等の掲出	継続して掲出する

(2) 移動等円滑化の促進を達成するために(1)と併せて講ずべき措置の実施状況

移動円滑化の推進に向け、運輸課長を中心に諸施策を実施していく。

(3) 報告書の公表方法

弊社ホームページで掲載する。

(4) その他

中長期的な経営に関する警悪と連動させ、毎年取組みを進めていく。

住 所 京都市右京区嵯峨天音寺車道町
 業 者 名 嵯峨野観光鉄道株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 井上 敬章

1. 鉄道駅の移動等円滑化の達成状況(鉄道駅ごとに記入)

(令和5年3月31日現在)

鉄道駅名	路線名	所在都道府県 市町村	一日当たりの利用者数	有人駅、無人駅の別	公共交通機関等円滑化基準省令適合の有無	段差への対応	プラットフォームの数	段差が解消されているプラットフォームの数	エレベーターの設置数	エスカレーター設置数	その他の降昇設備設置数	斜道の設置数	視覚障害者誘導用ブロックの有無	案内設備の有無	障害者対応の設置の有無	障害者対応改札口の設置の有無	障害者対応券売機の設置の有無	車いす利用者のための乗降可能なプラットフォームの数	転落防止のための設備の有無
トロッコ嵯峨駅	嵯峨野観光線	京都府京都市右京区 嵯峨 23区・郡・町・村 泉 市 区	1,487人			○	1	1	基	基	基	1 (1)箇所	○	○	○	○	○	1	○
トロッコ嵐山駅	嵯峨野観光線	京都府京都市右京区	1,088人				1		基	基	基	箇所			×	×	○		○
トロッコ保津駅	嵯峨野観光線	京都府京都市西京区	7人	○			1		基	基	基	箇所			×	○	○		○
トロッコ亀岡駅	嵯峨野観光線	京都府亀岡市篠町	2,528人			○	1	1	1 (1)基	基	基	1 (1)箇所	○	○	○	○	○	1	○
駅	線		人						基	基	基	箇所							
駅	線		人						基	基	基	箇所							

移動等円滑化取組計画書

2023年 9月 12日

住 所 京都市右京区嵯峨天竜寺車道町
事業者名 嵯峨野観光鉄道株式会社
代表者名 代表取締役社長 井上敬章

高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律第9条の4の規定に基づき、次のとおり計画し、実施に努めます。

I 現状の課題及び中期的な対応方針

当社は創業以来、通勤通学輸送を事業目的とせず、保津川沿いの渓谷美をお楽しみいただくための観光鉄道会社として列車運行を行って参りました。

2022年度は、新型コロナウイルスの影響が改善されつつあるとはいえ、厳しい状況には変わりありませんが、ご高齢のお客様や障がいをお持ちのお客様にも、安全で、かつ安心してご乗車いただけるよう、環境づくりを目指して参りました。

2023年度も、引き続き「バリアフリーを考慮したハード面の計画的な整備」「徹底した顧客起点によるソフト面での様々な取組み」を行い、安全で快適な「25分間のドラマ」の提供に努めて参ります。

(1) 旅客施設及び車両等の整備に関する事項

- ・厳しい経営環境ではございますが、法の趣旨のもと、施設・車両等へ計画的な整備を行って参ります。特に、今後の車両老朽取替え時には、バリアフリーを考慮いたします。

(2) 旅客支援、情報提供、教育訓練等に関する事項

- ・お客様にわかりやすく正確な情報をお伝えできる取組みを進めて参ります。
- ・お客様のご支援に必要な教育訓練に努めて参ります。

II 移動等円滑化に関する措置

① 旅客施設及び車両等を公共交通移動等円滑化基準に適合させるために必要な措置

対象となる旅客施設及び車両等	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
トロッコ嵐山駅	他社事例から整備が必要と判断した「多機能トイレ」の呼び出しボタンの新設については、2023年度冬季運休期間に施工する予定です。
トロッコ亀岡駅	

- ② 旅客施設及び車両等を使用した役務の提供の方法に関し法第八条第二項及び第三項の主務省令で定める基準を遵守するために必要な措置

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
マニュアルの更新	[2023 年度] 必要に応じてバリアフリーマニュアルを更新いたします。
実地訓練の実施	[2023 年度] マニュアルに基づいた教育の実施を計画いたします。

- ③ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる乗降についての介助、旅客施設における誘導その他の支援

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
障害者の接遇に関する民間資格を持つ社員の増強	[2023 年度以降] 6月にユニバーサルマナー研修を社員2名が受講し、社内で展開して参ります。今後も経営状況を踏まえ、計画的に受講を進めて参ります。

- ④ 高齢者、障害者等が公共交通機関を利用して移動するために必要となる情報の提供

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
高齢のお客様、お身体が不自由なお客様へのご利用案内の明確化	[2023 年度] 2022 年度に引き続き、高齢のお客様、お身体が不自由なお客様へのご利用案内について従来、当社ホームページ内にばらばらに記されているものを集約し、ご理解いただきやすいものに改め、現在、閲覧していただいております。

- ⑤ 移動等円滑化を図るために必要な教育訓練

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
接客に関する社員を対象とした研修	[2023 年度] お身体の不自由なお客様への介助方法等について運輸課研修を実施いたします。

- ⑥ 高齢者、障害者等が高齢者障害者等用施設等を円滑に利用するために必要となる適正な配慮についての旅客施設及び車両等の利用者に対する広報活動及び啓発活動

対 策	計 画 内 容 (計画対象期間及び事業の主な内容)
ポスターの掲示	[2023 年度] バリアフリーに関する各種ポスターを掲示いたします。

III 移動等円滑化の促進のためⅡと併せて講ずべき措置

移動円滑化を推進するため、運輸課長を中心に諸施策を推進して参ります。

IV 前年度計画書からの変更内容

対象となる旅客施設 及び車両等又は対策	変 更 内 容	理 由
高齢のお客様、お身体が不自由なお客様へのご利用案内の明確化	[2023 年度] ・2022 年度に引き続き、高齢のお客様、お身体が不自由なお客様へのご利用案内について従来、当社ホームページ内にばらばらに記されているものを集約し、ご理解いただきやすいものに改めるよう取り組んできましたが、現在、閲覧していただいております。 ・多機能トイレの呼び出しボタンの新設については、施工の都合上、2023 年度冬季運休期間に施工する予定です。	・お客様からお声を頂いたため ・他社事例から設置が必要と認めため

V 計画書の公表方法

弊社ホームページに掲載いたします。

VI その他計画に関連する事項

中長期的な経営に関する計画と連動させ、毎年ブラッシュアップを行って参ります。

注1 IVには、Ⅱについて前年度と比較して記入すること。なお、該当する対策が複数になる場合には、新たに欄を設けて記入すること。

2 Vには、本計画書の公表方法（インターネットの利用等）について記入すること。

3 VIには、Ⅱの欄に記入した計画に関連する計画（事業者全体に関連するプロジェクト、経営計画等）がある場合には、必要に応じ、その計画内容及び計画における当該事業者の位置付け等について記入すること。